

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	数学演習第二		
英文授業科目名	Exercise in Mathematics II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	木田 雅成		
居室	東1-413		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kida@sugaku.e-one.uec.ac.jp	http://mathweb.e-one.uec.ac.jp/ensyu.html

【主題および達成目標】
<p>数学の学習においては、講義を聞くのみでなく、演習問題を実際に解いてみることで、理解を深めるために大変有効である。この認識に立ち、微分積分学および線形代数学について、問題解決を主体にした演習を行う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>微分積分学第一，線形代数学第一，数学演習第一</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>なし</p>

【教科書等】
<p>教科書：三宅 敏恒 著『入門 微分積分』（培風館） 田吉 隆夫 著『理工系 線形代数学入門』（昭晃堂） 田吉 隆夫 編著『理工系 基礎数学演習』（昭晃堂）</p>

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

多変数の微分積分《微分積分学第二》

- ・ 広義積分，面積，曲線の長さ（復習）
- ・ 偏微分，合成関数の微分
- ・ テーラーの定理，極値問題
- ・ 陰関数，条件付き極値問題
- ・ 重積分の定義，累次積分
- ・ 変数変換

線形空間と線形写像《線形代数学第二》

- ・ 平面と空間のベクトル（復習）
- ・ 部分空間，1次独立性
- ・ 基底と次元
- ・ 線形写像，核と像
- ・ 基底の変換，表現行列

(b) 授業の進め方

学生は用意された問題を解き，そのあとで担当教員から問題についての解説を受ける．問題を解く際には，TA（＝ティーチングアシスタント）や担当教員が各学生の質問に応じる．

(c) 授業時間外の学習について

演習で扱った問題に対しては解答例が配付されるので，講義中に理解できなかった部分は必ず復習をするように．

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況と2回行われる統一試験（中間と期末，全クラス3限）の成績によって合否を決める．統一試験では，それまでの演習で扱った種類の問題が出題され，問題演習の定着度を見る．成績が振るわなかった学生および欠席がやや多い学生には追試（合格しても評価は可）を課す．評価自体は試験の成績を重視するが，欠席が1/3を越えた学生については試験が良くできていても合格は保証しない．なお，全学科共通の基準で評価する．

【オフィスアワー：授業相談】

講義時間中に教員と話す時間が十分にある．必要なら電子メールで予約した上で、研究室においで下さい。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【学生へのメッセージ】

微分積分学や線形代数学の講義では、演習に割くことのできる時間は限られており、講義内容を理解する上からも、問題演習は非常に重要である。担当教員や、大学院生のT Aに自由に質問できるこの講義時間を十分に活用してほしい。
またできなかつた問題、やり残した問題を自宅でやり直してみることも必要である。

【その他】

なし